

# われら ふるさと

## 文化祭

展示

10月29日から

11月3日まで

前夜祭

11月2日 7:30P.M.  
10:00P.M.

催し

11月3日 9:00A.M.  
4:30P.M.

主催 千代田町青年連合会  
千代田町中央公民館

水車は  
時代の流れに押し寄せながら  
回り続ける

その重い音は旅人の心へ  
語りかけてくる

おとそばで  
くり返される自然と  
つみ重ねられた歴史が  
どんたんにすばらしいかを

そのしじい音は  
気づかなかつた人生を  
思ひなかつた未来を  
覚すかのうらに

旅人は私  
私の中で水車は回り始める  
私が私達が  
生きる場としての  
いることを求めて  
いれらるるごと

Ami



## 文化祭によせて

秋も深まり、祭りの太鼓もいちだんと熱が入る時、本年で第5回目を迎える文化祭が開かれることとなりました。

今回の文化祭においては各青年会の団結はもとより各団体等のご理解、ご協力により盛大になったことを大へんうれしく思います。

今回のテーマを「われらふるさと」と題し、我がふるさと千代田の町のよさを今一度とらえてみました。

### テーマ ふるさとによせて

みわたすかぎり 晴れわたった空を  
ふとみあげるとき  
赤い夕焼け空をながめるとき

自分はこの大地で精一杯さけんでみたい  
我らふるさとへ……

この美しい自然の中で  
自分は何をしてきたのかと

この大地で育ってきた我らが  
どこにどんな愛着があるのだろうか

緑の山々と霧の海に包まれたこの土地  
この田舎には祖先があり またのんきさがある  
今の自分たちにはのんびりとした  
昔の姿がなつかしい

過ぎ去った思い出をふたたび  
よみがえらすとき  
若者はこのふるさとに活気ある展望を  
期待したい

千代田町青年連合会長

三宅 静香

# あいさつ

## 一層の奮起を

千代田町長 井 上 一 位

ふるさとの自然のめぐみと皆様のご努力によって「みのり」と「収穫」の秋を迎えて同慶に堪えません。

単純に年々の繰り返しのように見えますが社会の開化向上のためには、世々代々に亘る文化的活動が続けられて来ていることを見逃してはなりません。それは、過去から受けついで文化遺産を維持し、その精神をくみとり、更に自分達の時代において何ものかをプラスして次代へ伝える「伝承と創造」の「行為と営み」であります。

ふるさと千代田の文化を更に高めるため、今年も公民館や特に青年諸君が中心となって、各種団体に呼びかけ意義ある文化祭を実行して下さることとなり、心よりありがたく思います。

どうか全町の皆さん、多数参加・出席して頂き「心をなぐさめ」「心をはげまし」本町の理想【文化的田園都市建設】のため一層ご奮起下さるよう切望してやみません。

## また一步 歩き始める

千代田町中  
央公民館長 増 本 利 明

いわゆる東京志向の情報化社会の中で、「郷土」「私はこのまちで」そして今年「われらふるさと」とテーマは移り、この地に、この千代田に生きる者が、千代田に生まれたものを考え、自分達の生き方をもっと強く、もっと高めていこうという心意気が、ただ単なる「ふるさと運動」としてでなく進展している。この繰り返しが知らず知らずの内の文化への模索であり、現代文化の「創造」がなされていることを感じる時、高らかに「われらふるさと」「千代田」と大きな誇りとなって胸の中にかみ上げてくるのは、私だけではないでしょう。

若人から老人までの幅広い参加のもとに、年毎に盛大になっていく文化祭をご指導、ご協力いただきました方々に厚くお礼申し上げますと共に、「文化のまち千代田」へ、また一步、歩き始めようではありませんか。

## 日程と展示会場案内

■展示期間 10月29日～11月3日

午前9時から午後4時まで

■会場 千代田町中央公民館

■前夜祭 11月2日

午後7時30分から午後10時まで

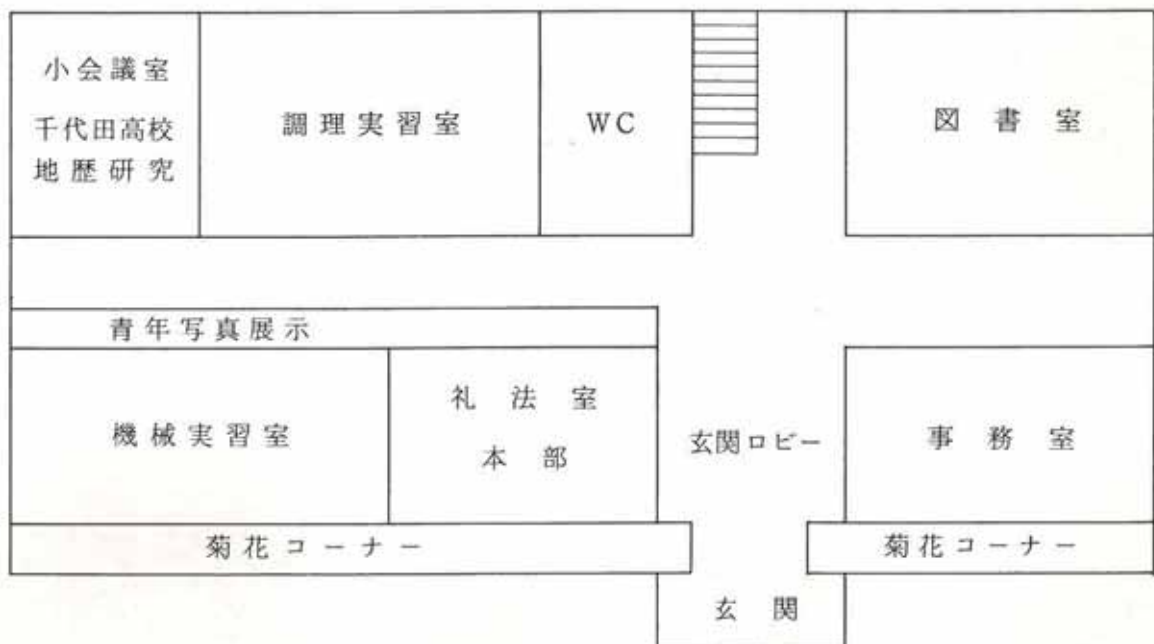
■催し  
(発表会) 11月3日

午前9時から午後4時30分まで

2階



1階





## 菊花同好会

菊の香が ふるさとを包み

この秋を演出する。この感激をもって

我が子か、我が菊か、丹精こめて

育てた花を、ご観賞下さい。



## 手芸教室 (アートフラワー)

アートフラワーの初歩から習得し、家庭に芸術をこの動機でつどい、佐藤様子先生を囲んで頑張っています。開講されてからまだ日も浅く、このたびの文化祭では残念ながら力作ぞろいという所まで行きませんが、一生懸命自分なりに頑張り、腕をみがき身につけようとしています。

## 盆栽クラブ

千代田盆栽会は、この現代に盆栽作りを通じて心のくつろぎを求め、同好の人々と互いに温い人間関係を結んで、明るく楽しい町作りをしようということで結成しました。

5年間、毎月集まって学習しています。文化祭にあたり、平素愛育し創作したもの約30点を展示します。

会員 70名 会長 福光重季

## 写真クラブ

会長 輪 田 辰 雄

私達にもたらされたすばらしい郷土  
現代の記録を確かめあうために  
レンズを通して求めている  
カメラをいつも車へのばせ  
シャッターチャンスをおねらっている  
あなたをおねらっているかも……  
組織としては日も浅いカメラマンたち  
われらふるさとにシボリを合わせています。どうぞご覧あれ……

Artist Club Chiyoda  
アーティスト クラブ チヨダ

ACC

千代田にいて

千代田の美しい旅をする

私の心の動きを

真白なキャンバスが

教えてくれる

そして

これを描くことは

絵を描くことだけでなく

描く程に

見ること、聞くこと

そして

生きることを大切にしたい

こんな

アーティスト

旅人に私は になりたい

あなたも  
私達の仲間  
になりませんか  
「若さ」があれば  
年は気になりません。

# 展示あんない

## 老人作品

本町20の老人クラブより出展された力作の書画・盆栽・手芸品等を展示。  
是非一度、老人パワーのすばらしさをご観覧あれ!!

## らく焼

壬生青年学級  
八重青年学級

いろいろな形の壺、飾皿が所狭しと並んでいます。  
どの作品も各自の個性が生きているユニークなものばかり。若者の熱意と努力をじっくりご覧ください。

講師 本田 忠先生

## 書道教室 Aグループ

昭和48年8月に発足し、満3年を迎えました。  
現在、学級生は43名です。

このグループは最高齢者71歳より若い娘さんに至るまで幅広い年齢層からなり、面白い構成です。  
月に2回、皆んなキッチンと机に座って、ユーモアたっぷりの池田先生の下で、熱心に書の道を、そして人の道を勉強しております。

少しずつですが、皆んな確実に上達のあとが見られ喜んでおります。

本年も秋の文化祭を迎え、各自自分なりに勢一ぱい作品に取り組み、思いきって出品してみました。  
未熟ですが、しっかりとご覧いただき、御指導賜りますようお願いいたします。

講師 池田剛三  
学級長 金子勲一

## コンピューター 占い 八重青年会

君の知りたい事は  
はやく、ピッタン  
占うよ……。

君！ チャレンジ  
してみないかい。

11月3日  
体育館にて  
よろしくね!!

## 書道教室 Bグループ

誕生して1歳8カ月。吉川先生の指導よろしきを得て、皆なごやかに楽しく学習に励んでいます。  
今年は出品も少ないようですが、来年こそは兄貴(Aグループ)に負けない力作をお見せしますよ。



## 千代田町内30余りある山城を求めて！

千代田高校 地歴部

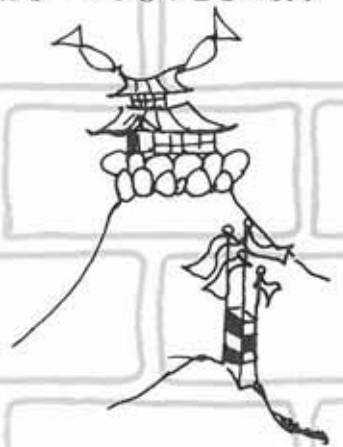
部長 美濃和憲

顧問 表 邦男

中世の山城が、私達の町には30余り散在しています。この山城は、一体いつごろのものか、どんな形、どんな規模のものだろうか……と、3年前から土曜・日曜を利用し、測量器具をかついで山を回り始めました。

そして、やっとのことでこの秋、調査を終了することができました。このたび町文化祭「われらふるさと」の古きを尋ねる一つのものとして展示参加します。どうぞ  
覧下さい。

また数年来、様々な土地の地図模型を作り県へ出品し、国土地理院長賞・県知事賞などを受賞しております。この作品も展示します。



## やきもの 教室

「土」と「火」の造形といわれる「やきもの」造りを自分の手で試みる事ができたら……  
現代あまりにも機械化された世の中で、手仕事による創形が人間本来の喜びを与えてくれます。私達は、手を動かし物を作る楽しみを自分のものにしようと努力しています。

講師 本田 忠

## ほりだし市

千代田町婦人会では、「資源とものを大切に」というスローガンのもと、運動を進め文化祭において各家庭からの提供品による不用品を一堂に集めました。皆さん、いいものをどんどん「ほりだし、ください。

品 物 日用品・衣料

日 時 11月3日 10:00～16:30

場 所 町民体育館 フロア

—千代田町婦人会—

※ 売り上げの一部を社会福祉施設へ贈ります。



# 前夜祭(映画)

11月2日 19:30~22:00

千代田町民体育館

- ① マンガ 豆つぶころころ  
テレビ放映  
日本昔ばなしより
- ② マンガ 山ねずみ  
ロッキーチャック
- ③ <sup>キッチョム</sup>吉四六よ天を駆ける(民話)

## 豆つぶころころ (11分)

豆つぶころころ、かまどにコロリ。  
働き者のお爺さんがかまどをのぞくと、なんとお地蔵さまが豆を食べています。そればかりか、中には不思議な世界が……(日本昔ばなし)より

## 山ねずみロッキーチャック (45分)

平和な「みどりが森」に今日も朝が訪れ、ロッキーチャック、ポリー、うさぎのピーターたちのお話が始まります。



## 吉四六よ天を駆ける!! (75分)

江戸時代末期の大自然に囲まれた農村地帯を舞台に、一人の天真らんまん吉四六さんの活躍にどうぞ期待下さい。(九州の代表的民話)



# プログラム 11月3日

9:00~16:30

- 9:00~ 9:30 開 会 式
- 9:40~10:20 川 迫 青 年 会 劇
- 10:20~10:40 老 人 ク ラ ブ 詩 吟
- 10:40~11:00 婦 人 会 民 謡
- 11:00~11:40 壬 生 青 年 会 放 送 劇
- 11:40~12:00 本 地 青 年 会 花 笠 踊 り
- 12:30~13:10 八 重 青 年 会 人 形 劇
- 13:10~13:50 千 代 田 高 校 放 送 劇
- 13:50~14:30 豊 平 町 青 年 会 影 絵
- 14:30~15:10 ク リ ス タ ル ノ ーツ 音 楽
- 15:10~15:40 婦 人 会 コ ー ラ ス
- 15:40~16:20 南 方 青 年 会 劇
- 16:20~16:30 閉 会 式

## 「思いやり」のお茶をどうぞ

生活の中に生きる茶の心

世の中に古くから無茶苦茶ということばがありますが、その無茶というのは俗にお茶が無いことで動作にすれば「思いやり」がないこととなります。

反対にお茶があるということは「思いやりのある生活」ということとなります。「思いやり」とは茶人のいう『和敬清寂』の心で、自分だけのことを考えるのではなく、まわりの人、あとから来る人の事を考えて物事をすれば、うるおいのある楽しい生活となるでしょう。……

このお茶の心を日常生活に生かしてうるおいのある楽しい社会にいたしましょう。

公民館茶道教室では、以上のようなお茶の心をもとにして、茶道の基礎から学習し、実生活にすぐ役立つ略盆点、千歳盆などのやさしいお点前から始めています。

礼法室にてこのお茶をめし上がり下さい。

茶道教室より

10時から4時まで

講師 兼定 一枝

## 出演団体紹介

### 詩 吟

#### 老人クラブ

昨年の夏ごろから始め、月1回、練習して来ました。この間、老人体育祭の時、初めての発表会をもたせていただき、ひざの震えを押えて声を張り上げました。この文化祭には一層がんばりますのでよろしく！

### コーラス

#### 千代田町婦人会

だれでも、どこでも、手軽に楽しめるコーラス。婦人会員によるコーラスを聞いてください。文化祭のために用意したもので、練習不足ですが精いっぱい頑張ります。

これを機会に、千代田町公民館にもコーラスサークルができればと思っています。

今回は、婦人会役員が中心となっていますが、婦人会に限らず、上手・下手は関係なし、あなたも声を出してみませんか!!

曲名「千代田町民の歌」他

### 放送劇「父帰る」

#### 千代田高校放送部

千代田高校放送部は部員10名、昼休憩の校内放送を担当し、小説の朗読、ディスクジョッキー等、日常行なっている。

放送劇「父帰る」は菊池 寛の原作で、明治40年頃を舞台とする古典的名作である。20年前に他の女のために妻と3人の子を捨てた父、その父が帰ってきた。

母と子の心は、今までのみじめな生活を思い微妙に揺れるのだが……………。

### 剣 舞 本能寺 頼 山陽・作

#### 千代田高校剣道部


佐々木 満利子  
河 田 秀 子

本能寺の変の直前、大事を成すは今夕だと光秀は決意したが、戦略に思い走って落ちつかず粽（ちまき）の皮もはがず、そのまま食う始末だった。

5月の暗にしずむ一帯は、一寸先も見えず墨を流したような絶好の闇、老の坂を西に去り行けば備中、高松城に通ずるが、光秀は鞭を上げて東に向かう。わが敵はまさに本能寺にあり。そして、ここで作者は反乱の主、光秀に備中強敵の秀吉がいるぞと警告して結ぶ。

部長 栗 師 修  
顧問 田 中 和 彦

《友情出演》

影絵グループ   
豊平町青年会

4年余り前、町文化祭へ10人で初めて参加したのが結成のきっかけ、影絵のもつシルエット・光の美しさのとりことなり、地域的な文化活動・ボランティア的な青年活動として現在まで進んでいる。

希望は、もっと多くのレパートリー・会員をふやしたい。

わしらも小さいころ  
あがなことがあったよー

影絵ファンタジー「ふるさと」

幼いころの歌、行事を思い起こすために、その頃の思い出、そして夢が、影絵の中でかけめぐります。山県の一年を美しい色を通して味わい下さい。

民謡教室

昭和42年7月 中央婦人会民謡教室として発足

指導者 小林先生

会員数 14名 平均年齢50歳プラスα

敬老会、老人ホーム慰問等、多少社会に貢献しているつもり……?! 上手下手はさておいて「いつまでも若く美しくありたい」と思う女性の願いと美容体操を兼ねて……。

また、人間関係にも大きく役立っていると思います。

練習日 第4月曜日 新地会館で練習していますので、希望者はいつでも入会できます。

- 出演題目
1. 日光和楽
  2. 大漁節
  3. 広島木槍

クリスタル・ノーツ



昭和48年7月、町内音楽好きが集まりバンドを結成し、沢崎君（タカキベーカリー勤務）をリーダーに7人で活動して来ました。メンバーの職業・年齢の違いこそあれ、毎週月・水曜日には熱心に練習し、ようやく10回のリサイタル（発表会）を数えようとしております。これまで解散一歩前に落ちこむアクシデントもありましたが、今年10月、リーダーの復帰と新人の加入とで、演奏には初心に帰ったつもりで頑張ります。ご期待あれ!



- |      |             |          |
|------|-------------|----------|
| メンバー | サククス        | 沢崎（リーダー） |
|      | ドラム・パーカッション | 松原・宮上    |
|      | ベースギター      | 田坂・伊藤    |
|      | リードギター      | 増村       |
|      | サイドギター      | 渡辺       |
|      | フルート        | 上野       |
|      | エレクトーン      | 福本       |

演目 カリフォルニアの青い空 他



## 出演団体紹介

### 川迫青年会

会長 森 脇 誠 悟



### 劇「屋上の狂人」

川迫青年会は、今年からこの千代田に郷土芸能として伝わりようとしている劇を上演しようと思います。

20人の会員で誰もが主役になれるだけに配役に苦労しましたが、ついに皆様にお目にかける時が来ました。

会員一同一生懸命頑張りたいと思っております。

乞／ご期待

### ふるさとのいいつたえ

私達の住んでいる千代田にも、昔からのいいつたえがたくさんあります。現在では、一部の老人方によって受けつがれていますが、私達は生まれ育った「ふるさと、のいいつたえ」を案外知りません。

文化祭の催しとして壬生青年会はこのうもれたいいつたえを、皆様に音と光と映像で見えたいとき、次の世代につたえてゆきたいと思ひます。

私達をとりまく自然の一つ一つに伝わる数々の「いいつたえ、こんな話もあったのか」と思われるでしょう。

### 壬生青年会

会長 丸 岡 義 行



### 本地青年会

会長 仲 野 末 雄



### 花笠踊り(県無形文化財)

天正6年(1578年)吉川元春の時代に起源したと伝えられ、豊年踊りとも言われています。歌頭を先頭に大きな花笠が行列を作って道行きし、神社・寺院を踊るこの踊りは、優雅で美しい自然を背景に踊られる様は、のどかで牧歌的な農村の伝統芸能を象徴しているようです。

本地青年会の活動は、夜間照明を利用してのバレーボール等、地区ぐるみの活動をしています。今回は、本地地区の文化財を若い力で守る意味でも、この花笠に取り組みました。

人形劇

題名 仲間たち

『この人形劇を見れば、八重青年会の雰囲気  
わかるよ。』ということ期待して、みんな一生  
懸命に練習してきました。

もちろん、大道具・小道具・人形も我々で作  
りました。連日連夜の練習の出来ばえは？



八重青年会

会長 大塚 隆



八重東青年会

会長 植田 好昭



“神楽,, だより

この町に生まれ育った 私達が過ぎ去りし日々  
と共に、なつかしく、想起す郷愁の一ページ…  
その中の一つに \*神楽、があります。

私達は \*有田神楽団、の歴史を追ってレポート  
して見ました。

“どん百姓の歌”

◦今年の南方青年会は、リーダー他17名の人数で  
\*和、という小さな目標から出発してきましたけど、  
今ではがっちりとした \*大きな和、となって  
青年活動しています。

◦今回の文化祭では、南方青年会始まって以来の  
芝居に取り組んでみました。

内容としては、ある1人の青年が都会での人生  
に破れ、我らふるさとに、第2の人生を求めて帰  
って来た、と言った内容の芝居です。

「こう 御期待!!」

南方青年会

会長 隅 中 竜 博



# 文化祭実行委員会役員

実行委員長	三宅静香		
副委員長	渡辺幸男	木本照恵	
企画、PR担当	隅中竜博	西田利恵	山石ひろこ
	清水勇二	吉城寺 隆	広森春雄
	木村栄子	橋詰俊博	藤石朱美
	中野末雄	ACC	千代田町中央公民館
会場、展示担当	前田義隆	細部俊彦	植田好昭
	渡草新吾	森脇誠吾	柳原純子
	春木富美恵	後田孝則	岡広 勲
	土井順子	山田 学	吉原国恵
会計担当	国安勝美		





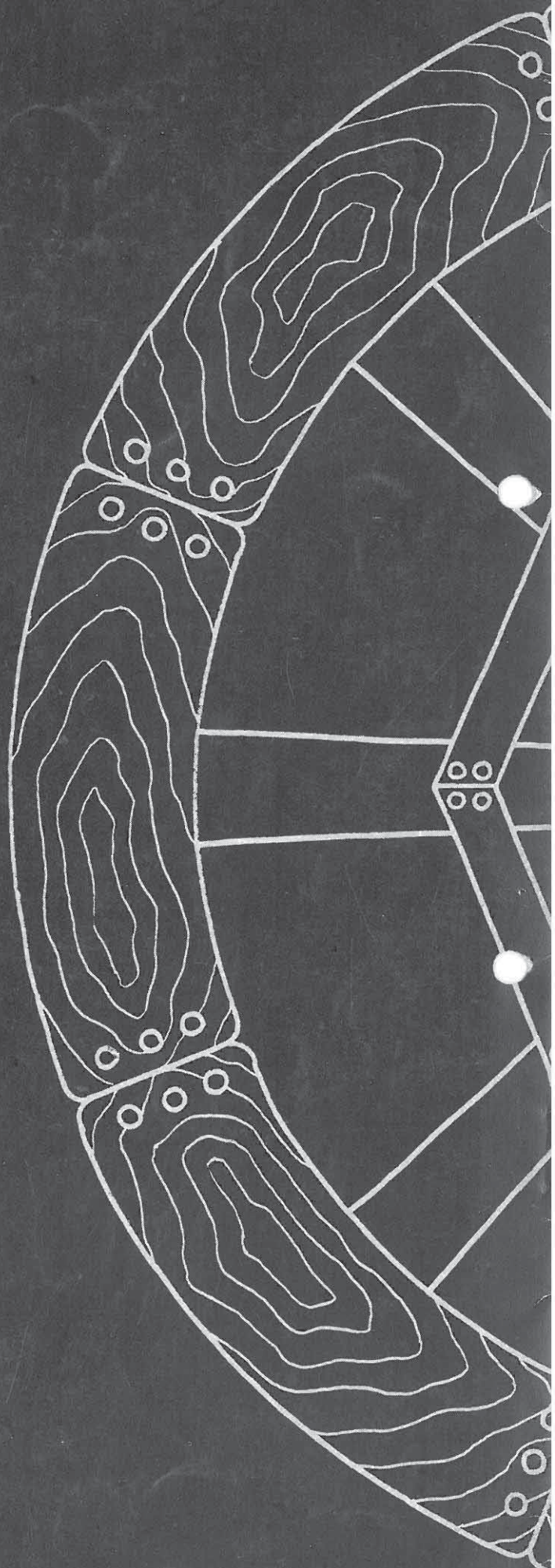
# 味わいのふるさとを 知ろう



観光パンフレット「ちよだ」より

よみが  
更生える  
先人達の拓いた  
自然と心





1976